

山武農業事務所

普及だより

山武農業事務所

山武の



山武農林業振興普及協議会

〒283-0006 東金市東新宿1-11

☎ 0475-54-0226 FAX 52-7914

ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/>

祝!「日本農業賞食の架け橋の部優秀賞」、「持続可能な農業推進コンクール農林水産大臣賞」をダブル受賞 ～30周年を迎えた「さんぶ野菜ネットワーク」～



新規就農者の育成



消費者との交流

山武市を拠点に活動する「農事組合法人さんぶ野菜ネットワーク」が、「日本農業賞食の架け橋の部優秀賞」、「未来につながる持続可能な農業推進コンクール農林水産大臣賞（有機農業・環境保全型農業部門）」の2つの大きな賞を受賞しました。

今回の受賞は、有機農業の安定生産に向けた技術向上と



つづくり講習会

今年、結成30周年を迎え、更なる躍進が期待されます。

担い手育成の取り組みをはじめ、食農教育や消費者交流、援農ボランティアの受入れ、フードバンク等の幅広い活動により、生産者と消費者を結ぶ架け橋として農業の活性化に貢献してきたことが高く評価されていたの受賞でした。

「農事組合法人さんぶ野菜ネットワーク」は、昭和63年に結成されたJAの有機部会が前身です。平成17年に農事組合法人となり、平成21年からは組合員の高齢化による担い手不足の打開策として新規就農者を育成する体制を整え、現在までに33人が独立就農しました。組合員の平均年齢も平成18年の60歳から48歳と若返り、若手農業者の参入によって地域の活性化にもつながっています。

5年後の目標は 農場長!



昨年度、千葉県農業士に認証された、横芝光町の竹内朱紀たけうちあきさんを紹介します。

竹内さんは、平成28年度に設立された「サンスマイル」山武農業女子ネット（会員49名）の設立に尽力し、会長を経て現在は会の監事として、活躍しています。

栽培品目は、施設野菜と水稻

の複合です。夫と夫の両親、雇
用者も入れて経営を行っていま
す。

竹内さんのモットーは「どん
なことにも挑戦!」。結婚後も
保育士を続けていましたが、「農
業をやるなら、早いほうが吸収
できる」と、4年前に就農しま
した。現在は、ハウスのミニト
マト部門と、雇用管理、経理部
門を夫のサポートを受けながら、
担うまでになっています。

また、町の官民学連携による
観光資源の掘り起こしチーム
「よこびか倶楽部」のメンバー
として、町の良さをPRする活
動へも積極的に参加しています。
夫と二人三脚、「明確な目標
を持って、日々精進」、「5年後
は、農場長になりたい」と心に
決めています。
何事にも挑戦する気持ちを持
ち続ける竹内さん。今後の活躍
が期待されます。

自動給排水シス テムで省力化!

山武市の水田で、県のスマー
ト農業実証事業を活用した、自
動給排水システムの試験を行っ
ています。

水稻の大規模経営では、水田
の枚数が百枚を超え、水管理の
負担が課題になっています。ま
た、九十九里地域では、田植時
期に用水の利用が集中するため、
一時的に用水が不足することが
あります。

自動給排水システムは、ス
マートフォン等による遠隔操作
で水田の水位を管理して、水管



給水側設置状況



排水側設置状況

理の負担を軽減することができ
ます。異常があった時にはス
マートフォン等に通知が来るの
で、安心です。また、必要な時
に必要な量だけ給水するので、
節水効果も期待できます。

国の実証実験では、労力を約
8割、用水量を約5割削減させ
た、という結果も出ています。
今回の試験に協力していただい
ている生産者によると、設置ほ
場の水管理が、大変楽になっ
ているそうです。

導入価格や中継器の設置が必
要になるなど、課題も少なくあ
りませんが、省力的な水管理に
有効な自動給排水システムの試
験を今後も継続していきます。

高単価の5〜6月どり 夏ネギ栽培

ネギの端境期になる5月上旬〜6月下旬出荷の夏ネギは、単価が高く10a当たり200万円を超える販売事例もあります。ぜひ栽培に取り組んでみましょう。

栽培歴は表のとおりです。5月出荷は2うねをパイプ支柱で被覆する2条トンネル、6月出荷は1うねをダンポール支柱で被覆する1条トンネルで栽培します。被覆材はクリンテート又は農ポリを使用します。

トンネル内は35℃以上にならないよう、2月中旬から穴換気を開始し、温度管理します。3月下旬の被覆除去後は、10〜14日間隔で土寄せします。

栽培のポイントは以下の4点です。

- ① 十分な基肥を施用する（表）
- ② 換気をして高温障害を防ぐ
- ③ 秋冬ネギに比べて早めの土寄せを行う

栽培歴

栽培方法	10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
2条トンネル	○	○			●	●				x		n	v	v	v							
1条トンネル		○	○			n				x			n	v	v	v						
露地			○											v	v	v	v					

○: 播種 ●: 定植 n: トンネル x: 穴換気開始 v: 土寄せ ■: 収穫

2条トンネルの施肥例		10a当たり施用量（窒素 - リン酸 - 加里）	
基肥	ホワイトエース3号	100kg	(17kg - 8kg - 10kg)
追肥	磷硝安加里1号N	30kg×2回	(9kg - 9kg - 7kg)
1条トンネルの施肥例		10a当たり施用量（窒素 - リン酸 - 加里）	
基肥	SCねぎ専用047	120kg	(12kg - 17kg - 8kg)
追肥	磷硝安加里1号N	20kg×3回	(9kg - 9kg - 7kg)

④ 被覆除去後は、2週間に1回を目安にべと病・白絹病の防除を行う
また、近年ではハウスを利用した夏ネギ栽培事例もあり、抑制トマト裏作としても有望な作型です。
新しく取り組む方は、詳細なマニュアルもありますので、農業事務所まで御連絡ください。

今からでも間に合う パイプハウスの台風対策

平成28年、29年は台風により農業施設に大きな被害が発生しました。栽培期間中でも行えるパイプハウスの補強について紹介します。なお、間口5・4m、軒高1・8mのハウスを補強する場合を想定します。

(1) 側面の補強

外径49mm程度の足場用の直管をハウスの肩部分に水平に取り付けます（図1-①）。さらに側面が傾きにくいように1・6mにカットした直管を3m間隔で打ち込んで固定します（図1-②）。

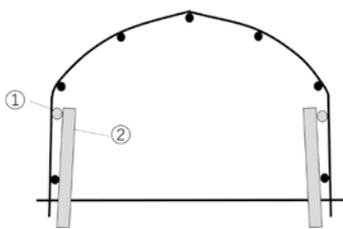


図1 側面補強

(2) 妻面の補強

43mmの足場用鉄パイプを用いて補強します。メインのアーチを妻面に取り付け（図2-①）、アーチを支えるつかえ棒を取り付けます（図2-②）。



図2 妻面補強

今回紹介した方法はあくまでも簡易的なもので、この他にも色々な補強の仕方があります。根本的な対策のためにはハウスの構造や立地条件を加味する必要がありますがあるので、専門業者に御相談ください。また、対策は日々の点検・補修が基本です。パイプ等に腐食や変形、損傷があると強度が大きく低下するので必ず補修するようにしましょう。（静岡県「施設園芸における強風対策技術導入マニュアル」参照）

千葉県立農業大学校 平成31年度 入学生の募集

農業の発展に寄与する優れた農業の担い手や指導者の育成を目指し、左記の日程で入学試験が行われます。

願書受付 (推薦入学)

平成30年9月28日(金)

～10月12日(金)

(一般入学)

A日程：平成30年12月10日(月)

～12月21日(金)

B日程：平成31年1月28日(月)

～2月8日(金)

試験期日

(推薦入学)

平成30年10月25日(木)

(一般入学)

A日程：平成31年1月9日(水)

B日程：平成31年2月20日(水)

申込・問い合わせ先

千葉県立農業大学校

電話

0475(52)5121

農地の貸し借りについて ご相談ください

近年、農業者の高齢化などに伴い、担い手への農地の集積・集約化の重要性が増しています。

農業からのリタイアを考えている方、水田をやめて畑に専念したいなどで、貸したい農地がある方、また、農地を借りて規模拡大したい方は、市町、山武農業事務所又は、公益社団法人千葉県園芸協会(農地中間管理機構)にご相談ください。

連絡先は、各市町窓口、山武農業事務所

電話

0475(54)1122

又は

(公社)千葉県園芸協会農地部

山武駐在

電話

070(3139)8341

080(4356)4972

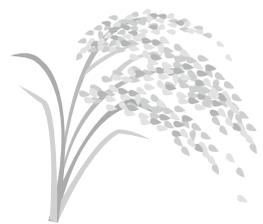
まで、お気軽にお問合せください。

稲作農家の皆様へ 引き続き飼料用米の 取組みをお願いします

平成30年産以降は、国からの「米の生産数量目標」の配分は行わず、県及び市町村段階の生産者団体である農業再生協議会で需給に応じた生産に取り組み仕組みに移行しました。実質的には、生産者団体自らが行う仕組みとなりました。

このように、お米を取り巻く状況は変化していますが、米価が不安定になれば稲作農家の経営は厳しくなるので、米の需給バランスと価格安定のため、米の生産調整に御協力をお願いします。

農業事務所では、稲作農家の経営安定と所得向上のため、市町、JA等と連携し、国・県の交付金を有利に活用できる飼料用米の多収品種を推進しています。



▼飼料用米多収品種の特性

「アキヒカリ」

収穫期は、5月中旬植えで、9月1日頃。短稈で倒伏しにくい。多肥栽培で10a当たり670kgを期待できます。

「夢あおば」

収穫期は、5月中旬植えで、9月10日頃。稈長はやや長いが倒伏しにくい。多肥栽培で10a当たり700kgを期待できます。

▼飼料用米の収入試算

多収品種・区分管理方式の場合、10a当り12万円強の収入が見込まれます。更に市町から助成がある場合があります。

飼料用米の収入試算(10a当り)

収量	670kg
販売価格	5,918円
戦略作物助成金	99,205円
産地交付金	14,800円
県助成金	3,000円
合計	122,923円